



平成 30 年 12 月 14 日

各 位

会 社 名 クロスプラス株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 山本 大寛
 (コード番号 3320 東証・名証第二部)
 問 合 せ 先 取 締 役 西垣 正孝
 (TEL052-532-2211)

平成 31 年 1 月期の通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえて、平成 30 年 3 月 16 日に公表しました平成 31 年 1 月期の通期連結業績予想値を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

- (1) 平成 31 年 1 月期の通期連結業績予想数値の修正
 (平成 30 年 2 月 1 日～平成 31 年 1 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	65,000	500	600	500	68.32 円
今回修正予想(B)	63,000	0	150	150	20.49 円
増減額(B-A)	△2,000	△500	△450	△350	—
増減率(%)	△3.1	△100.0	△75.0	△70.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 1 月期)	62,780	385	526	666	91.14 円

(2) 修正理由

連結業績予想につきましては、売上高は婦人衣料品全般が苦戦する中、大型台風、豪雨などの天候不順による消費の低迷や 10 月以降に気温が高めに推移したことで特に単価の高いコート等の冬物衣料の販売が不振でした。販売チャネル別では専門店向けを拡大しましたが、量販店衣料市場が苦戦する中、当社でも量販店向けの販売が落ち込みました。また、ヤング市場が低調でヤング専門店向けの ODM・OEM 販売を中心とする当社の連結子会社であるスタイリンク株式会社の不振などもありました。

利益面では、低価格商品への対応として早期受注によりアセアン生産を拡大することで価格対応力の強化を進めましたが、消費者の節約志向の強まりを受け、販売単価の低下の影響があったことで売上総利益率が低下しました。

以上の結果、売上高及び営業利益は前回予想を下回る見込みとなりました。また経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても営業利益の減少に伴い予想を下回る見込みとなりました。

※上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績については、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上